

外山啓介ピアノ・リサイタル

～ベートーヴェン生誕 250 周年記念～

2020 年 7 月 3 日(金)

たましん**RISURU**ホール
(立川市市民会館) 大ホール

主催：公益財団法人立川市地域文化振興財団

ご挨拶

本日は、ご来場いただきまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の政府による緊急事態宣言に伴い、多くのコンサートが中止・延期になりました。東京都のロードマップ並びに立川市版ステップが移行したことにより、本日「小ホール」から「大ホール」に会場を振替えて約5ヶ月ぶりにコンサートを開催することができました。本日ご来場のお客様には、急遽座席の振替にご協力いただき、心より御礼申し上げます。

演奏者の外山啓介様にも毎年小ホールで開催していただいておりますが、今回の事態により、会場変更を快く承諾いただきましたことに感謝いたします。

公益財団法人立川市地域文化振興団



本日は、このような状況のなか、私の演奏会にお越しいただきありがとうございます。たましん RISURU ホールでは毎年、小ホールにて私の演奏会を開催していただいておりますが、今年は大ホールでの開催に変更ということになりました。親密な空間での演奏会を楽しみにされていたお客様には大変申し訳なく、お詫びを申し上げます。

こちらのホールで「ソーシャル・ディスタンス」での演奏会は、今日が初めてだとお聞きしました。

大変な状況のなか、大変な状況だからこそ、なんとかして演奏会を予定通り実施したいという主催者様の情熱と努力に敬意を表します。

そして何より、今日ここにお集まりいただいたお客様に心よりお礼を申し上げます。

通常とは少し違う雰囲気の演奏会になるかもしれませんが、お楽しみいただけましたら幸いです。

外山啓介



生誕 250 年を迎えた「ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン」
ベートーヴェンは、ドイツ中西部のボンで 1770 年 12 月 16 日に生まれました。11 歳から作曲と鍵盤楽器を学び、16 歳の時にはウィーンへ赴き、モーツァルトの前で即興演奏した。

25 歳で最初の「ピアノ協奏曲」を完成。自らの演奏で初演し、30 歳で「交響曲第 1 番」を完成、初演している。20 代後半から耳の不調があり、30 歳を迎えたころには日常生活にも支障をきたす状況となった。聴覚異常はさらに進行していたが、数々の交響曲やヴァイオリン協奏曲などを書き上げ、39 歳で名作「ピアノ協奏曲第 5 番《皇帝》」を完成させた。

40 歳半ばを迎えると、耳の状態はさらに悪化し、ほとんど何も聞こえない状態であった。

54 歳で年末恒例の大作「交響曲第九番（合唱付き）」を完成させた。56 歳の年末、肺炎を患い他の病気も併発し、翌年の 1827 年 3 月 26 日「楽聖」ベートーヴェンは永眠した。



曲目解説

ピアノ・ソナタ 第12番 変イ長調 op.26「葬送」

ベートーヴェンが31歳のときの作品。第3楽章に「ある英雄の死をいたむ葬送行進曲」の副題を持つことから「葬送ソナタ」と呼ばれている。ある英雄が誰かは不明である。

- 第1楽章 アンダンテ・コン・ヴァリアツィオーニ 3/8 拍子 変イ長調
- 第2楽章 スケルツォ アレグロ・モルト 3/4 拍子 変イ長調
- 第3楽章 マエストーゾ・アンダンテ 4/4 拍子 変イ短調
- 第4楽章 アレグロ 2/4 拍子 変イ長調

＊小休憩（換気）5分間

ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2「月光」

同じく31歳のときの作品「月光ソナタ」という通称でも親しまれている。

「月光」は、ドイツの詩人レルシュタープが「スイスのルツェルン湖の月夜の波に揺らぐ小舟のよう」と表現したことに由来している。

「月光」「悲愴」「熱情」は「ベートーヴェンの3大ピアノ・ソナタ」と呼ばれている。

- 第1楽章 アダージョ・ソステヌート 2/2 拍子 嬰ハ短調
- 第2楽章 アレグレット 3/4 拍子 変ニ長調
- 第3楽章 プレスト・アジタート 4/4 拍子 嬰ハ短調

＊休憩 15分間

ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 op.13「悲愴」

29歳のときの作品。ベートーヴェンの初期のピアノ・ソナタの頂点をなす傑作。

また、その劇的な美しい楽想のため広く知られている。

- 第1楽章 グラーヴェ 4/4 拍子 アレグロ・ディ・モルト・エ・コン・ブリオ 2/2 拍子 ハ短調
- 第2楽章 アダージョ・カンタービレ 2/4 拍子 変イ長調
- 第3楽章 ロンド アレグロ 2/2 拍子 ハ短調

＊小休憩（換気）5分間

ピアノ・ソナタ 第23番 ヘ短調 op.57「熱情」

35歳のときの作品。ベートーヴェンの中期のピアノ・ソナタの最高傑作である。「熱情」の題名は、ハンブルクの出版社クラッツが出版の際に付けたもの。

- 第1楽章 アレグロ・アッサイ 12/8 拍子 ヘ短調
- 第2楽章 アンダンテ・コン・モート 2/4 拍子 変ニ長調
- 第3楽章 アレグロ・マ・ノン・トロppo プレスト 2/4 拍子 ヘ短調

外山啓介（ピアノ） Keisuke Toyama, piano



札幌市出身。札幌市出身。5才からピアノを始める。

2004年、第73回日本音楽コンクール第1位（併せて増沢賞、井口賞、野村賞、河合賞、聴衆賞を受賞）。東京藝術大学卒業。08年よりドイツ（ハノーファー音楽演劇大学）留学を経て、11年、東京藝術大学大学院を修了。18年、第44回「日本ショパン協会賞」受賞。札幌大谷大学芸術学部音楽学科講師。洗足学園音楽大学非常勤講師。

07年、デビュー・アルバム『CHOPIN：HEROIC』リリース。サントリーホールを始め全国各地で行われたデビュー・リサイタルが完売、新人としては異例のスケールでデビュー。08年、2作目のアルバム『インプレッションズ』をリリース。09年、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団来日公演にてショパンのピアノ協奏曲を共演。3作目のアルバム『ラフマニノフ』は『レコード芸術』誌特選盤に選出された。10年、4作目のアルバム『幻想ポロネーズ』をリリース。12月31日には「東急ジルベスターコンサート」に出演（テレビ東京系にて全国ネット生中継）。11年、過去4枚のアルバムから選曲した『外山啓介 BEST』を発売。12年、札幌コンサートホール Kitara でのニューイヤー・コンサートに出演。13年、ベルギー国内5か所でフランドルス交響楽団定期演奏会に出演しヨーロッパ・デビュー。NHK交響楽団との共演がNHK Eテレにて全国放送。6作目のCD『展覧会の絵』が『レコード芸術』誌特選盤に選出された。14年、映画『砂の器』のテーマ曲「宿命」を東京・大阪にて演奏（ライヴ録音CD発売）。15年、CD『ショパン：バラード全集』をリリース。16年、ベルリン交響楽団日本公演ツアーにソリストとして参加。17年、デビュー10周年記念ツアーを全国約20か所で実施、最新CD『マイ・フェイヴァリッツ』リリース。

毎年全国規模のリサイタル・ツアーを行っており、その繊細で色彩感豊かな独特の音色を持つ演奏は、各方面から高い評価を得ている。

これまでに、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、札幌交響楽団など多くのオーケストラと共演。植田克己、ガブリエル・タッキーノ、マッティ・ラエカリオ、吉武雅子、練木繁夫の各氏に師事。外山啓介オフィシャルサイト <http://www.keisuke-toyama.com>